マルチメディア
ユーザ ガイド

初版：2008 年 9 月

製品番号：486596-291

製品についての注意事項

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピュータで対応していない場合もあります。

目次

1 マルチメディア機能

マルチメディア コンポーネントの各部 2

音量の調整 4

2 マルチメディア ソフトウェア

プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアへのアクセス 6

ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール 7

3 オーディオ

外付けオーディオ デバイスの接続 9

オーディオ機能の確認 10

4 ビデオ

外付けモニタまたはプロジェクタの接続 12

5 オプティカル ドライブ（一部のモデルのみ）

取り付けられているオプティカル ドライブの確認 13

オプティカル ディスク（CD および DVD）の使用 14

CD または DVD の再生 15

自動再生の設定 16

DVD 地域設定の変更 17

著作権に関する警告 18

CD または DVD のコピー 19

CD および DVD の作成または「書き込み」 20

オプティカル ディスク（CD または DVD）の取り出し 21

6 Web カメラ（一部のモデルのみ）

Web カメラ使用上の注意 23

Web カメラ プロパティの調整 24

Web カメラのフォーカスの制御（一部のモデルのみ） 25

名刺画像の取り込み 26

7 トラブルシューティング

オプティカル ディスク トレイが開かず、CD または DVD を取り出せない場合 29
ディスクが再生されない場合 30
ディスクが自動的に再生されない場合 31
DVD の動画が停止したりコマ落ちしたりする場合や、再生が不安定な場合 32
DVD の動画が外付けディスプレイに表示されない場合 33
ディスクへの書き込み処理が行われない、または完了する前に終了してしまう場合 34
コンピュータがオプティカル ドライブを検出しない場合 35
デバイス ドライバを再インストールする必要がある場合 36
Microsoft デバイス ドライバの入手 36
HP デバイス ドライバの入手 36

索引 37

1 マルチメディア機能

お使いのコンピュータには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア機能が含まれています。お使いのコンピュータには、以下のようなマルチメディア コンポーネントが含まれている場合があります。

- オーディオ ディスクおよびビデオ ディスクを再生するオプティカル ドライブ
- 音楽を再生する内蔵スピーカ
- 独自のオーディオを録音する内蔵マイク
- 動画の撮影および共有ができる内蔵 Web カメラ
- 音楽、動画および画像の再生と管理を行うことができるプリインストール済みのマルチメディア ソフトウェア

注記： お使いのコンピュータによっては、一覧に記載されていても、一部のコンポーネントが含まれていない場合があります。

ここでは、お使いのコンピュータに含まれているマルチメディア コンポーネントを確認する方法、およびマルチメディア コンポーネントを使用する方法について説明します。

マルチメディア コンポーネントの各部

次の図と表で、コンピュータのマルチメディア機能について説明します。

名称		説明
(1)	Web カメラ（一部のモデルのみ）	サウンドを録音したり、動画を録画したり、静止画像を撮影したりします
(2)	内蔵マイク	サウンドを録音します **注記：** 内蔵マイクはデュアル アレイ マイクを使用することにより、音声を強化し周辺ノイズを低減しています
(3)	音量調整スライダ	スピーカの音量を調整します。指を左にスライドさせると音量が下がり、右にスライドさせると音量が上がります。また、マイナス記号（−）を押し続けると音量が下がり、プラス記号（＋）を押し続けると音量が上がります
(4)	オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売のコンピュータ用ヘッドセットのマイク、ステレオ アレイ マイク、またはモノラル マイクを接続します
(5)	オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	別売の電源付きステレオ スピーカ、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、またはテレビ オーディオを接続したときに、サウンドを出力します **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください

名称		説明
		注記： ヘッドフォン コネクタにデバイスを接続すると、コンピュータ本体のスピーカは無効になります
(6)	スピーカ	サウンドを出力します
(7)	ミュート（消音）ボタン	スピーカの音を消したり元に戻したりします

音量の調整

音量の調整には、以下のどれかを使用します。

- コンピュータ本体の音量調整デバイス：
  - 音を消したり元に戻したりするには、ミュート（消音）ボタン（**1**）を押します。
  - 音量を下げるには、音量調整スライダで指を右から左にスライドさせるか、適切な音量になるまでマイナス（－）記号（**2**）を押し続けます。
  - 音量を上げるには、音量調整スライダで指を左から右にスライドさせるか、適切な音量になるまでプラス（＋）記号（**3**）を押し続けます。

- Windows®の[ボリューム コントロール]：

a. タスクバーの右端にある通知領域の**[音量]**アイコンをクリックします。

b. 音量を調節するには、スライダを上下に移動します。**[ミュート]**チェック ボックスにチェックを入れると、音が出なくなります。

または

a. 通知領域の**[音量]**アイコンをダブルクリックします。

b. 音量を調節するには、[ボリューム コントロール]列で**[音量]**スライダを上下に動かします。バランスを調整したり、音を消したりすることもできます。

[音量]アイコンが通知領域に表示されない場合は、以下の手順で操作して表示します。

a. **[スタート]→[コントロール パネル]→[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]→[サウンドとオーディオ デバイス]→[音量]**タブの順に選択します。

b. **[タスクバーに音量アイコンを配置する]**チェック ボックスにチェックを入れます。

c. **[適用]**をクリックします。

- プログラムの音量調整機能：

プログラムによっては、音量調整機能を持つものもあります。

2　マルチメディア ソフトウェア

お使いのコンピュータには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア ソフトウェアがプリインストールされています。ここでは、プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアへのアクセス方法の詳細について説明します。

プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアへのアクセス

プリインストールされているマルチメディア ソフトウェアにアクセスするには、以下の操作を行います。

▲ **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**の順に選択し、使用するマルチメディア プログラムを起動します。

注記： サブフォルダに含まれているプログラムもあります。

注記： コンピュータに付属しているソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書はソフトウェアに含まれていたり、ディスクに収録されていたり、または製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール

CD または DVD からマルチメディア ソフトウェアをインストールするには、以下の手順で操作します。

1. ディスクをオプティカル ドライブまたは別売の外付けオプティカル ドライブに挿入します。
2. インストール ウィザードが開いたら、画面上のインストール手順に沿って操作します。
3. コンピュータの再起動を求めるメッセージが表示されたら、コンピュータを再起動します。

3 オーディオ

お使いのコンピュータでは、以下のさまざまなオーディオ機能を使用できます。

- コンピュータのスピーカおよび接続した外付けスピーカを使用した、音楽の再生
- 内蔵マイクまたは接続された外付けマイクを使用した、サウンドの録音
- インターネットからの音楽のダウンロード
- オーディオと画像を使用したマルチメディア プレゼンテーションの作成
- インスタント メッセージ プログラムを使用したサウンドと画像の送信
- ラジオ番組のストリーミング（一部のモデルのみ）または FM ラジオ信号の受信
- オーディオ CD の作成（書き込み）（一部のモデルのみ）

外付けオーディオ デバイスの接続

⚠ **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

外付けスピーカ、ヘッドフォン、マイクなどの外付けデバイスの接続方法については、デバイスの製造元から提供される情報を参照してください。良好な結果を得るため、以下の点に注意してください。

- デバイス ケーブルがお使いのコンピュータの適切なコネクタにしっかりと接続されていることを確認します（通常、ケーブル コネクタは、コンピュータの対応するコネクタに合わせて色分けされています）。
- 外付けデバイスに必要なドライバがある場合は、そのドライバをインストールします。

注記： ドライバは、デバイスとデバイスが使用するプログラム間のコンバータとして機能する、必須のプログラムです。

オーディオ機能の確認

お使いのコンピュータのシステム サウンドを確認するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[コントロール パネル]**の順に選択します。
2. **[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]→[サウンドとオーディオ デバイス]**の順に選択します。
3. [サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ]ウィンドウが開いたら、**[サウンド]**タブをクリックします。**[プログラム イベント]**でビープやアラームなどの任意のサウンド イベントを選択してから、一覧表示されているサウンドの横にある右矢印アイコンをクリックします。

   スピーカまたは接続したヘッドフォンから音が鳴ります。

コンピュータの録音機能を確認するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[エンターテイメント]→[サウンド レコーダ]**の順に選択します。
2. **[録音]**をクリックし、マイクに向かって話します。デスクトップにファイルを保存します。
3. [Windows Media Player]を起動して、サウンドを再生します。

注記： 良好な録音結果を得るため、直接マイクに向かって話し、雑音がないように設定して録音します

▲ コンピュータのオーディオ設定を確認または変更するには、タスクバー上の**[サウンド]**アイコンを右クリックするか、**[スタート]→[コントロール パネル]→[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]→[サウンドとオーディオ デバイス]**の順に選択します。

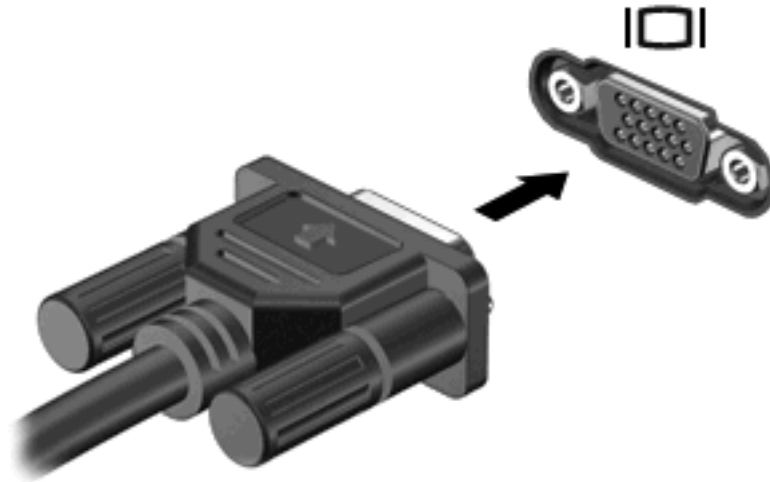
4 ビデオ

お使いのコンピュータでは、以下のさまざまなビデオ機能を使用できます。

- 動画の再生
- インターネットを介したゲーム
- プレゼンテーションの作成のための画像や動画の編集
- 外付けビデオ デバイスの接続

外付けモニタまたはプロジェクタの接続

外付けモニタ コネクタによって、外付けモニタまたはプロジェクタなどの外付けディスプレイ デバイスをお使いのコンピュータに接続できます。

▲ ディスプレイ デバイスを接続するには、デバイスのケーブルを外付けモニタ コネクタに接続します。

注記： 正しく接続された外付けディスプレイ デバイスに画像が表示されない場合は、fn + f4 キーを押して画像をデバイスに転送します。fn + f4 キーを繰り返し押すと、表示画面がコンピュータ本体のディスプレイと外付けディスプレイ デバイスとの間で切り替わります。

5　オプティカル ドライブ（一部のモデルのみ）

取り付けられているオプティカル ドライブの確認

▲ **[スタート]→[マイ コンピュータ]**の順に選択します。

オプティカル ドライブなどの、お使いのコンピュータに搭載されているデバイスの一覧が表示されます。以下のどちらかの種類のドライブが含まれている可能性があります。

- DVD-ROM ドライブ
- DVD±RW スーパーマルチ 2 層記録対応（DL）ドライブ

注記：　2 層記録対応（DL）ディスクは、単層ディスクより多くのデータを保存できます。ただし、このドライブで書き込まれた 2 層記録対応ディスクは多くの単層 DVD ドライブおよびプレーヤに対応していない可能性があります。

注記：　上記には、お使いのコンピュータでサポートされていないドライブが含まれている場合もあります。

オプティカル ディスク（CD および DVD）の使用

DVD-ROM ドライブなどのオプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD および DVD）に対応しています。これらのディスクは、音楽、写真、動画などの情報を保存します。DVD の方が、CD より大きい容量を扱うことができます。

オプティカル ドライブでは、標準的な CD や DVD のディスクの読み取りができます。

注記： ここには、お使いのコンピュータでサポートされていないドライブが含まれている場合もあります。また、サポートされているオプティカル ドライブすべてが上記の一覧に記載されているわけではありません。

以下の表に示すように、一部のオプティカル ドライブでは、オプティカル ディスクへの書き込みもできます。

オプティカル ドライブの種類	CD-RW への書き込み	DVD*への書き込み	LightScribe CD または DVD へのラベルの書き込み	BD R/RE への書き込み
DVD-ROM ドライブ	可	不可	不可	不可
DVD±RW スーパーマルチ 2 層記録対応ドライブ	可	可	不可	不可

*2 層記録対応 DVD+R、DVD±RW/R および DVD-RAM を含みます。

CD または DVD の再生

1. コンピュータの電源を入れます。
2. オプティカル ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押して、ディスク トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します（**2**）。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。

注記： ディスク トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまで、ディスクをゆっくり押し下げます（**3**）。

6. ディスク トレイを閉じます。

自動再生の動作を設定していない場合は、以下の項目で説明しているように、[自動再生]ダイアログ ボックスが開きます。メディアのコンテンツ（内容）をどのように扱うかについての選択を求められます。

自動再生の設定

1. **[スタート]→[マイ コンピュータ]**の順に選択します。
2. デバイス（CD-ROM など）を右クリックし、次に**[プロパティ]**をクリックします。
3. **[自動再生]**タブをクリックし、実行可能な動作のどれかを選択します。
4. **[OK]**をクリックします。

注記： 自動再生について詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

DVD 地域設定の変更

著作権で保護されているファイルを使用する多くの DVD には地域コードがあります。地域コードによって著作権は国際的に保護されます。

地域コードがある DVD を再生するには、DVD の地域コードが DVD ドライブの地域の設定と一致している必要があります。

△ 注意： DVD ドライブの地域設定は、5 回までしか変更できません。

5 回目に選択した地域の設定が DVD ドライブの最終的な設定になります。

ドライブで地域設定を変更できる残りの回数が、[DVD 地域]タブに表示されます。

オペレーティング システムで設定を変更するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[マイ コンピュータ]**の順に選択します。
2. ウィンドウを右クリックし、**[プロパティ]**→**[ハードウェア]**タブ→**[デバイス マネージャ]**の順に選択します。
3. **[DVD/CD-ROM ドライブ]**の横のプラス記号（＋）をクリックします。
4. 地域設定を変更する DVD ドライブを右クリックして、次に**[プロパティ]**をクリックします。
5. **[DVD 地域]**タブをクリックし、設定を変更します。
6. **[OK]**をクリックします。

著作権に関する警告

コンピュータ プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容などの著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピュータをそのような目的に使用しないでください。

△ **注意：** 情報の損失やディスクの損傷を防ぐため、以下のガイドラインを参照してください。

ディスクに書き込む前に、コンピュータを安定した外部電源に接続してください。コンピュータがバッテリ電源で動作しているときは、ディスクに書き込まないでください。

ディスクに書き込む前に、使用するディスク ソフトウェア以外で開いているすべてのプログラムを閉じます。

コピー元のディスクからコピー先のディスクに、またはネットワーク ドライブからコピー先のディスクに直接コピーしないでください。

ディスクへの書き込み中にキーボードを使ったり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすい動作です。

注記： コンピュータの付属ソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書はソフトウェアに含まれていたり、ディスクに収録されていたり、または製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

CD または DVD のコピー

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[Roxio]**（ロキシオ）→**[Creator Business]**（クリエイタ ビジネス）の順に選択します。
2. 右側のパネルで、**[ディスクのコピー]**をクリックします。
3. コピーするディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
4. 画面右下の**[コピー]**をクリックします。

   コピー元のディスクが読み取られ、そのデータがハードドライブの一時フォルダにコピーされます。
5. メッセージが表示されたら、コピー元のディスクをオプティカル ドライブから取り出して、空のディスクをドライブに挿入します。

   データがコピーされると、自動的にトレイが開いて作成したディスクが出てきます。

CD および DVD の作成または「書き込み」

△ **注意：** 著作権に関する警告に従ってください。コンピュータ プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容などの著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピュータをそのような目的に使用しないでください。

お使いのコンピュータに DVD±RW のオプティカル ドライブが搭載されている場合は、[Windows Media Player]または[Roxio Creator Business]などのソフトウェアを使用して、MP3 や WAV 音楽ファイルなどのデータやオーディオ ファイルを書き込むことができます。動画ファイルを CD または DVD に書き込むには、[Windows Movie Maker]を使用します。

CD または DVD に書き込むときは、以下のガイドラインを参照してください。

- ディスクに書き込む前に、開いているファイルをすべて終了し、すべてのプログラムを閉じます。
- CD-R や DVD-R は、情報をコピーした後は変更できないため、通常はオーディオ ファイルの書き込みに最適です。
- ホーム ステレオやカー ステレオによっては CD-RW を再生できないものもあるため、音楽 CD の書き込みには CD-R を使用します。
- CD-RW や DVD-RW は、一般的にはデータ ファイルの書き込みや、変更できない CD または DVD に書き込む前にオーディオや動画の記録をテストする場合に最適です。
- ホーム システムで使用される DVD プレーヤは、通常、すべての DVD フォーマットに対応しているわけではありません。対応しているフォーマットの一覧については、お買い上げの DVD プレーヤに付属の説明書を参照してください。
- MP3 ファイルは他の音楽ファイル形式よりファイルのサイズが小さく、MP3 ディスクを作成するプロセスはデータ ファイルを作成するプロセスと同じです。MP3 ファイルは、MP3 プレーヤまたは MP3 ソフトウェアがインストールされているコンピュータでのみ再生できます。

CD または DVD にデータを書き込むには、以下の手順で操作します。

1. 元のファイルを、ハードドライブのフォルダにダウンロードまたはコピーします。
2. 空のディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
3. **[スタート]→[すべてのプログラム]**の順に選択し、使用するソフトウェアの名前を選択します。
4. 作成するディスクの種類（データ、オーディオ、または動画）を選択します。
5. **[スタート]→[エクスプローラ]**の順に右クリックして、元のファイルを保存したフォルダに移動します。
6. フォルダを開き、空のオプティカル ディスクのあるドライブにファイルをドラッグします。
7. 選択したプログラムの説明に沿って書き込み処理を開始します。

手順について詳しくは、それぞれのソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書はソフトウェアに含まれていたり、ディスクに収録されていたり、製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

オプティカル ディスク（CD または DVD）の取り出し

1. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押してディスク トレイを開き、トレイをゆっくりと完全に引き出します（**2**）。
2. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。

3. ディスク トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

6 Web カメラ（一部のモデルのみ）

注記： ここでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピュータで対応していない場合もあります。

お使いのコンピュータには、ディスプレイの上部に Web カメラが内蔵されています。プリインストールされたソフトウェアを使用すると、Web カメラを使用して写真の撮影、動画の録画、またはオーディオの録音ができます。写真、録画した動画、または録音したオーディオをプレビューして、コンピュータのハードドライブに保存できます。

Web カメラおよび[HP Webcam]ソフトウェアにアクセスするには、**[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP Webcam Application]**（HP Webcam アプリケーション）の順に選択します。

[HP Webcam]ソフトウェアを使用すると、以下の機能を利用できます。

- 動画：動画の録画や再生を行います。
- オーディオ：オーディオの録音や再生を行います。
- 動画の再生：UVC（Universal Video Class）カメラをサポートするインスタント メッセージ ソフトウェア ソリューションで使用します。
- スナップショット：静止画像を撮影します。
- [HP Presto! Bizcard]（一部のモデルのみ）：名刺を連絡先情報に使用できるデータベースに変換するために使用します。

Web カメラ使用上の注意

パフォーマンスを最適にするために、Web カメラの使用時は以下のガイドラインを参照してください。

- ビデオ チャットを始める前に、最新バージョンのインスタント メッセージ プログラムを用意します。
- ネットワーク ファイアウォールの種類によっては、Web カメラが正常に機能しない場合があります。

  注記： マルチメディア ファイルを閲覧したり、別の LAN またはネットワーク ファイアウォール外のユーザへマルチメディア ファイルを送信したりするときに問題が生じる場合は、ファイアウォールを一時的に無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を永久に解決するには、必要に応じてファイアウォールを再設定したり、他の侵入検知システムのポリシーや設定を調整したりします。詳しくは、ネットワーク管理者または IT 部門に問い合わせてください。

- 可能な限り、Web カメラの背後と写真領域の外側に、明るい光源を配置します。

注記： Web カメラの使用について詳しくは、Web カメラ ソフトウェアのヘルプを参照してください。

Web カメラ プロパティの調整

以下のような Web カメラのプロパティを調整できます。

- **[輝度]**：画像に取り込まれる光の量を調整します。輝度を高く設定すると明るい画像になり、輝度を低く設定すると暗い画像になります。
- **[コントラスト]**：画像の明るさと暗さの対比を調整します。コントラストを高く設定すると画像の対比の度合いが高まり、コントラストを低く設定すると、元の情報のダイナミック レンジを維持しますがより平面的な画像になります。
- **[色相]**：他の色（赤、緑、または青など）から区別する色合いを調整します。色相は色彩と異なり、色彩は色相の強さを示します。
- **[色彩]**：最終的な画像の色みの強さを調整します。色彩を高く設定するとより鮮やかな画像になり、色彩を低く設定するとよりくすんだ画像になります。
- **[シャープネス]**：画像の境界線の緻密さを調整します。シャープネスを高く設定するとよりはっきりとした画像になり、シャープネスを低く設定するとより柔らかい画像になります。
- **[ガンマ]**：画像の中間調の灰色または中間色に作用する対比を調整します。画像のガンマを調整することで、大幅に陰影およびハイライト部分を変更することなく、中間色の灰色部分の輝度を変化させることができます。ガンマを低く設定すると灰色はより黒く、濃い色はより濃くなります。
- **[逆光補正]**：バックライトの明るさを調整します（バックライトが明るすぎて対象物が輪郭のみになるなど、画像が極端にぼやけてしまう場合に使用します）。
- **[夜間モード]**：低光量の状態を補正します。
- **[ズーム]**（**一部のモデルのみ**）：写真撮影や動画録画でのズームのパーセンテージを調整します。
- **[水平方向]**または**[垂直方向]**：画像を水平方向または垂直方向に回転させます。
- **[50 Hz]**または**[60 Hz]**：ちらつきのない動画の録画のために使用するシャッター速度を調整します。

複数の明るさの状態用にあらかじめ設定されたカスタマイズ可能なプリセット プロファイルによって、「白熱灯」、「蛍光灯」、「ハロゲン」、「晴れ」、「曇り」、「夜」といった明るさの状態を補正します。

Web カメラのフォーカスの制御（一部のモデルのみ）

Web カメラのフォーカスを制御するには、**[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP Webcam Application]**（HP Webcam アプリケーション）→**[HP Webcam]**→**[Settings]**（設定）→**[Options]**（オプション）の順に選択します。

以下のフォーカス オプションがあります。

- **[Normal]**（**ノーマル**）：カメラの出荷時設定は通常の写真に適しています。最短焦点距離がレンズから 1 m 程度、最長焦点距離は無限遠です。
- **[Macro]**（**マクロ**）：至近距離から写真や動画を撮影するためのクローズアップ設定です（一部のモデルのみ）。

注記：　[HP Presto! Bizcard]（一部のモデルのみ）は、マクロ設定で動作します。

名刺画像の取り込み

Web カメラを[Presto! BizCard]プログラムとともに使用すると、名刺の画像を取り込み、そのテキストを[Microsoft® Outlook]の連絡先などのさまざまな種類のアドレス帳ソフトウェアにエクスポートできます。

名刺画像を取り込むには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[Newsoft]→[Presto! BizCard 5]→[Presto! BizCard 5]**の順に選択し、[Presto! BizCard]を開きます。
2. 名刺 1 枚の情報を取り込むには、**[File]**（ファイル）→ **[Snap One Card and Recognize]**（1 枚の名刺にスナップして認識）の順に選択します。

   または

   複数の名刺の情報を取り込むには、**[File]**（ファイル）→**[Snap Cards and Recognize]**（複数の名刺にスナップして認識）を選択します。

   [Preview]（プレビュー）ウィンドウが開きます。
3. コンピュータ前面の名刺スロットに名刺を差し込み（**1**）、カードを右方向にスライドさせて（**2**）Web カメラの位置に合わせます。

注記： スロットでテキストが隠れている場合は、テキストを Web カメラに向けた状態で名刺を 180 度回転させます。

4. ディスプレイをゆっくりと下げていき（**1**）、Web カメラ ランプ（**2**）が点滅をやめて音が聞こえた所で止めます。これで Web カメラが名刺に焦点を合わせている状態になります。

5. 複数の名刺画像を取り込む場合は、1 枚目の名刺を取り出し、次の名刺を差し込みます。名刺に焦点が合うと、Web カメラ ランプが点灯します。その後、名刺の画像が撮られ、Web カメラ ランプは消灯します。

   さらに名刺を取り込むには、この手順を繰り返します。

6. 名刺情報の取り込みが終了したら、スロットから名刺を取り出し、ディスプレイを持ち上げます。

7. 1 枚の名刺から情報を取り込んだ場合、[Presto! BizCard]で取り込まれた情報を表示して取り込みが成功したか確認します。

   または

   複数の名刺から情報を取り込んだ場合、[Snap Cards and Recognize]（複数の名刺にスナップして認識）ウィンドウを閉じた後、[Presto! BizCard]で取り込まれた情報を表示して取り込みが成功したか確認します。

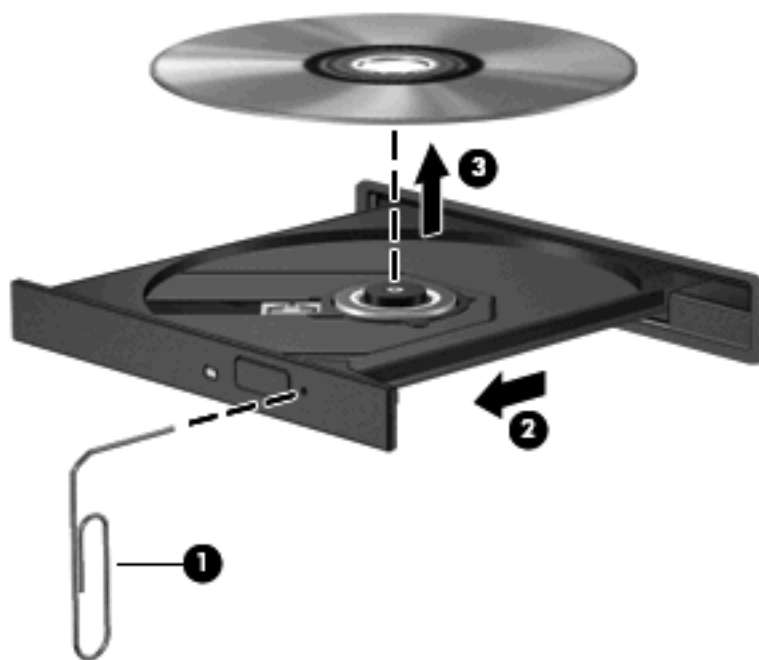
[Presto! BizCard]について詳しくは、ソフトウェアのヘルプを参照してください。

7 トラブルシューティング

ここでは、一般的な問題と解決方法について説明します。

オプティカル ディスク トレイが開かず、CD または DVD を取り出せない場合

1. ドライブのフロント パネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ（**1**）の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、トレイが開いたら、トレイを完全に引き出します（**2**）。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。

4. ディスク トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

ディスクが再生されない場合

- CD または DVD を再生する前に作業を保存し、開いているすべてのプログラムを閉じます。
- CD または DVD を再生する前にインターネットをログオフします。
- ディスクを正しく挿入していることを確認します。
- ディスクが汚れていないことを確認します。必要に応じて、ろ過水や蒸留水で湿らせた柔らかい布でディスクを清掃します。ディスクは中央から端の方に向かって拭いてください。
- ディスクに傷がついていないことを確認します。傷がある場合は、一般の電器店や CD ショップなどで入手可能なオプティカル ディスクの修復キットで修復を試みることもできます。
- ディスクを再生する前にスタンバイを無効にします。

  ディスクの再生中にハイバネーションまたはスタンバイを起動しないでください。起動すると、続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。[いいえ]をクリックすると以下のようになります。

  ◦ 再生が再開します。

  または

  ◦ マルチメディア プログラムの再生ウィンドウが閉じます。ディスクの再生に戻るには、マルチメディア プログラムの**[再生]**ボタンをクリックしてディスクを再起動します。場合によっては、プログラムを終了してから再起動する必要が生じることもあります。
- システムのリソースを増やします。
  ◦ プリンタとスキャナなどの外付けデバイスの電源を切ります。これによってシステム リソースが解放され、再生パフォーマンスが向上されます。

デスクトップの色のプロパティを変更します。16 ビットを超える色の違いは人間の目では簡単に見分けられないため、以下の方法でシステムの色のプロパティを 16 ビットの色に下げても、動画の再生時の色の違いは気にならないでしょう。

1. アイコン以外の、デスクトップ上の任意の場所を右クリックし、**[プロパティ]→[設定]**の順に選択します。
2. **[画面の色]**を**[中（16 ビット）]**に設定します。

ディスクが自動的に再生されない場合

1. **[スタート]→[マイ コンピュータ]**の順にクリックします。
2. デバイス（CD-ROM ドライブなど）を右クリックし、次に**[プロパティ]**をクリックします。
3. **[自動再生]**タブをクリックし、実行可能な動作のどれかを選択します。
4. **[OK]**をクリックします。

   これで、CD または DVD をオプティカル ドライブに挿入したときに自動的に再生されます。

注記： 自動再生について詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

DVD の動画が停止したりコマ落ちしたりする場合や、再生が不安定な場合

- ディスクに傷がついていたり、損傷したりしていないことを確認します。
- ディスクを清掃します。
- 以下の操作を実行して、システム リソースを節約します。
  - インターネットからログオフします。
  - デスクトップの色のプロパティを変更します。

    1.コンピュータ デスクトップの空いている場所を右クリックし、**[プロパティ]→[設定]**の順に選択します。

    2.設定がまだ選択されていない場合は、**[画面の色]**を**[中（16 ビット）]**に設定します。
  - プリンタ、スキャナ、カメラ、携帯電話などの外付けデバイスを取り外します。

DVD の動画が外付けディスプレイに表示されない場合

1. コンピュータのディスプレイと外付けディスプレイの両方の電源が入っている場合は、fn + f4 キーを 1 回以上押して、表示画面をどちらかに切り替えます。

2. 外付けディスプレイがメインになるようにモニタの設定を行います。

   a. コンピュータ デスクトップの空いている場所を右クリックし、**[プロパティ]→[設定]**の順に選択します。

   b. メイン ディスプレイとセカンダリ ディスプレイを指定します。

注記： 両方のディスプレイを使用する場合は、DVD の画像はセカンダリ ディスプレイとして指定したディスプレイには表示されません。

マルチメディアに関して、このガイドで説明されていない質問について情報を得るには、**[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択します。

ディスクへの書き込み処理が行われない、または完了する前に終了してしまう場合

- 他のプログラムがすべて終了していることを確認します。
- スタンバイおよびハイバネーションを無効にします。
- お使いのドライブに適した種類のディスクを使用していることを確認します。ディスクの種類について詳しくは、ディスクに付属の説明書を参照してください。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。
- より低速の書き込み速度を選択し、再試行します。
- ディスクをコピーしている場合は、コピー元のディスクのコンテンツを新しいディスクに書き込む前に、その情報をハードドライブへコピーし、ハードドライブから書き込みます。
- [デバイス マネージャ]の[DVD/CD-ROM ドライブ]カテゴリにあるディスク書き込みデバイスのドライバを再インストールします。

コンピュータがオプティカル ドライブを検出しない場合

コンピュータがオプティカル ドライブを検出しない場合は、[デバイス マネージャ]を使用してデバイスの問題を解決し、デバイス ドライバを更新するか、アンインストールするか、無効にします。

[デバイス マネージャ]でデバイスとドライバを確認するには、以下の手順で操作します。

1. オプティカル ドライブからディスクを取り出します。
2. **[スタート]→[マイ コンピュータ]**の順に選択します。
3. ウィンドウを右クリックし、**[プロパティ]→[ハードウェア]**タブの順に選択し、**[デバイス マネージャ]**をクリックします。
4. [デバイス マネージャ]ウィンドウで、マイナス記号（－）がすでに表示されている場合を除き、**[ディスク ドライブ]**または**[DVD/CD-ROM ドライブ]**の横のプラス記号（＋）をクリックします。オプティカル ドライブの一覧を確認します。
5. 表示されているオプティカル ドライブを右クリックすると、以下のタスクを実行できます。
   - ドライバを更新する。
   - デバイスを無効にする。
   - ハードウェアの変更をスキャンする。Windows はシステムをスキャンして取り付けられているハードウェアを検出し、必要なドライバをすべてインストールします。
   - デバイスが正しく動作しているかどうかを確認するには、**[プロパティ]**をクリックします。
     - 問題を解決するには、**[トラブルシューティング]**をクリックします。
     - デバイスのドライバの更新、無効化、またはアンインストールを行うには、**[ドライバ]**タブをクリックします。

デバイス ドライバを再インストールする必要がある場合

Microsoft デバイス ドライバの入手

[Microsoft Update]を使用すると、最新の Windows デバイス ドライバを入手できます。この Windows の機能は、お使いのハードウェア ドライバおよび Windows オペレーティング システムとその他の Microsoft 製品に関する更新を自動的に確認し、インストールするように設定できます。

[Microsoft Update]を使用するには、以下の手順で操作します。

1. インターネット ブラウザを開き、http://www.microsoft.com/ja/jp/を表示します。
2. **[セキュリティ アップデート]**をクリックします。
3. **[Microsoft Update]**をクリックしてコンピュータのオペレーティング システム、プログラム、およびハードウェアの最新の更新情報を入手します。
4. 画面の説明に沿って操作し、[Microsoft Update]をインストールします。
5. **[変更する]**をクリックし、[Microsoft Update]が Windows オペレーティング システムとその他の Microsoft 製品へのアップデートを確認する時間を選択します。
6. コンピュータの再起動を求めるメッセージが表示されたら、お使いのコンピュータを再起動します。

HP デバイス ドライバの入手

最新の HP デバイス ドライバを入手するには、以下のどちらかの手順で操作します。

[HP Update]（HP アップデート）を使用するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[HP]**→**[HP Update]**の順に選択します。
2. [HP Welcome]（HP へようこそ）画面で、**[Settings]**（設定）をクリックし、ユーティリティが Web 上でソフトウェアの更新を確認する時間を選択します。
3. **[Next]**（次へ）をクリックして、HP ソフトウェアの更新を確認します。

HP の Web サイトを使用するには、以下の手順で操作します。

1. インターネット ブラウザを開き、http://www.hp.com/support/を表示します。
2. 国または地域を選択します。
3. [ドライバ&ソフトウェアをダウンロードする]オプションをクリックし、お使いのコンピュータの製品名または製品番号を[製品名・番号で検索]フィールドに入力します。
4. enter キーを押し、画面の説明に沿って操作します。

索引

C
CD
　書き込み　20
　コピー　19
　再生　15
　取り出し　21
CD ドライブ　13

D
DVD
　DVD 地域設定の変更　17
　書き込み　20
　コピー　19
　再生　15
　取り出し　21
DVD 地域設定　17
DVD ドライブ　13

W
Web カメラ
　位置　2
　使用上の注意　23
　使用　22
　フォーカスの制御　25
　プロパティの調整　24
　名刺の取り込み　26

い
イヤフォン　2

お
オーディオ機能　8
オーディオ機能、確認　10
オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ、位置　2
オーディオ デバイス、外付け　9
オーディオ入力（マイク）コネクタ、位置　2
オプティカル ディスク
　取り出し　21
オプティカル ドライブ　13
音量調整スライダ
　位置　2
　使用　4
音量、調整　4

か
確認、オーディオ機能　10

こ
コネクタ
　オーディオ出力（ヘッドフォン）　2
　オーディオ入力（マイク）　2
コネクタ、外付けモニタ　12

し
自動再生　16
使用、Web カメラ　22
使用上の注意、Web カメラ　23

す
スピーカ　3

そ
外付けオーディオ デバイス、接続　9
外付けモニタ コネクタ　12
ソフトウェア
　名刺読み取り　26

ち
地域コード、DVD　17
著作権の警告　18

て
デバイス ドライバ
　HP　36
　Microsoft　36
　アンインストール、再インストール　36

と
ドライブ
　DVD ROM ドライブ　14
　DVD±RW スーパーマルチ 2 層記録対応ドライブ　14
　オプティカル　13
トラブルシューティング
　DVD 動画再生　32
　オプティカル ディスク トレイ　29
　オプティカル ドライブの検出　35
　自動再生　31
　外付けディスプレイ　33
　ディスクの再生　30
　ディスクへの書き込み　34
　デバイス ドライバ　36

な
内蔵マイク、位置　2

ひ
ビデオ、使用　11

ふ
フォーカス、Web カメラ　25
フォーカスの制御、Web カメラ　25
プロジェクタ、接続　12

へ
ヘッドフォン（オーディオ出力）コネクタ　2
ヘッドフォン　2

ほ
ボタン、ミュート　4

ま
マイク（オーディオ入力）コネクタ　2
マイク、内蔵　2
マルチメディア コンポーネント、各部　2
マルチメディア ソフトウェア
アクセス　6
インストール　7

み
ミュート ボタン、位置　3
ミュート ボタン　4

め
名刺読み取りソフトウェア　26

も
モニタ、接続　12
問題、解決　28